

兒こ雷らい也や豪傑譚こうしやくたん  
 上の卷七篇



~13  
 3878  
 13



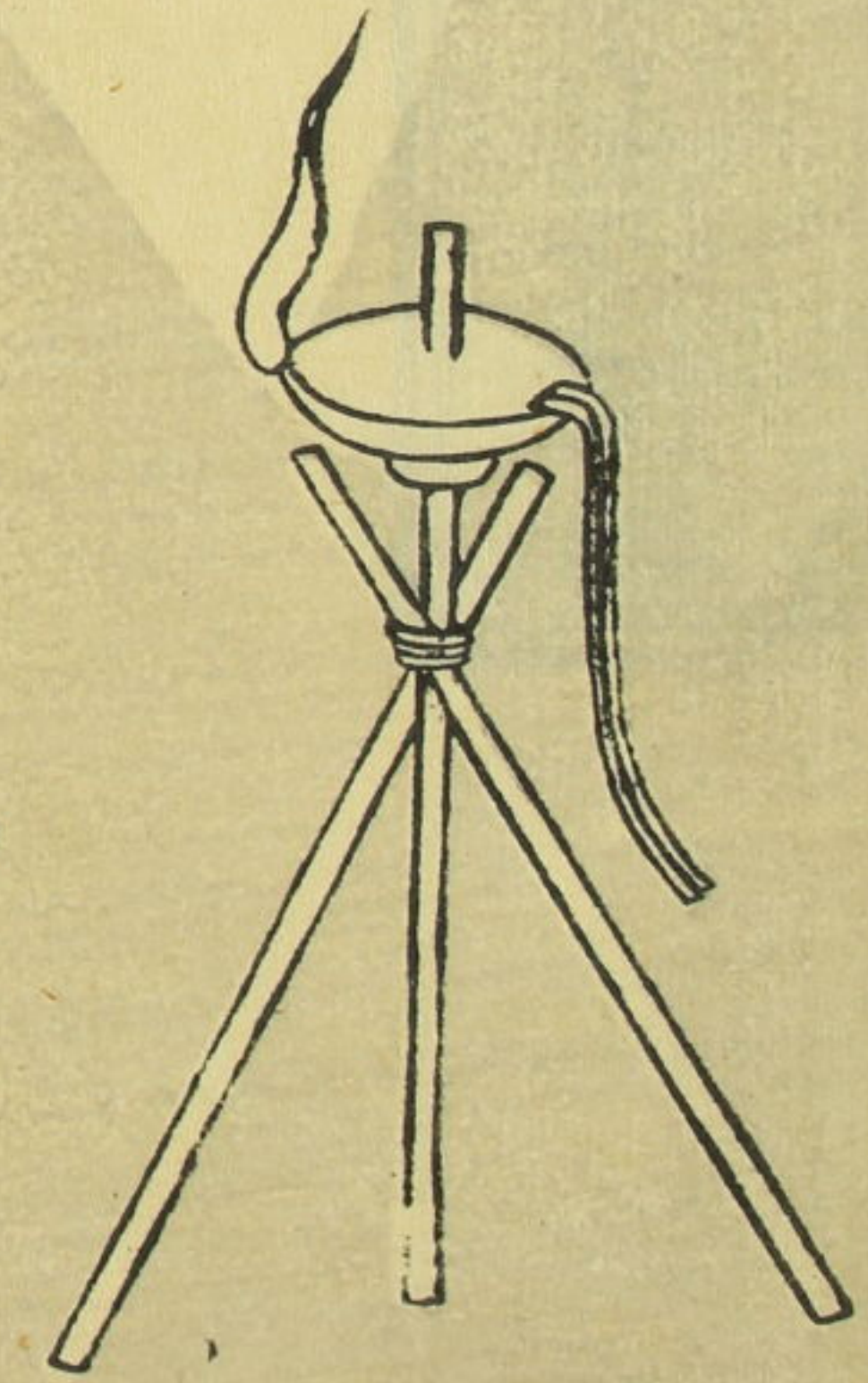


門へ13  
 號 3878  
 卷 13

兒雷也  
 豪傑譚

上卷

一 柙の亭作  
 壽多画



泉市 棒

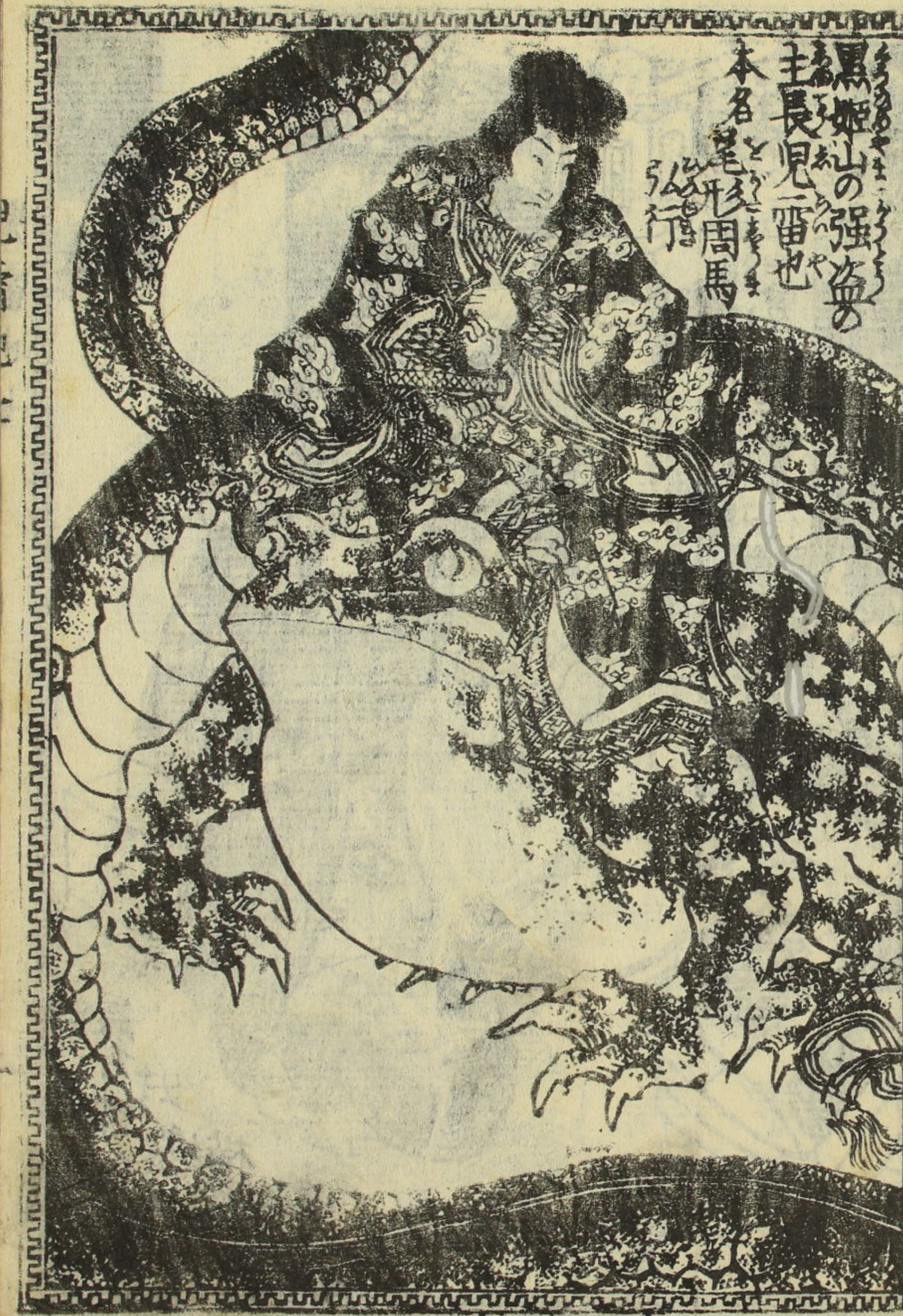
其鐘懸くと雖も敵えは其音と知らぬ細糸長くと雖も鮮され  
 其長夫を料る由は戯譚の策子譚といふ初より佳境に至る抑  
 這兒雷也の主人の口碑ふゆる自来也と種々名同く其度  
 撰者侯骨奪胎蝦蟆の妖術大蛇の怪異小兄強盗妹の遊女兄弟  
 撰者亦甚く能く其善悪を強く悪く強く強く尾形周馬の行状  
 美因組子の戯書妙案編と續々小評判よく時好小懐いて今  
 歳亦送稿小花を飾るを録の林青柙のいと長やふ編と師全部  
 の結局近きあるは鳴呼勸懲の微意よく至れり尺せりと甘口  
 序と甘泉堂の新販元作者へ詔ふ述るを任る

弘化丁未春發兌

一筆茶弁渙公羽誌

見番九七



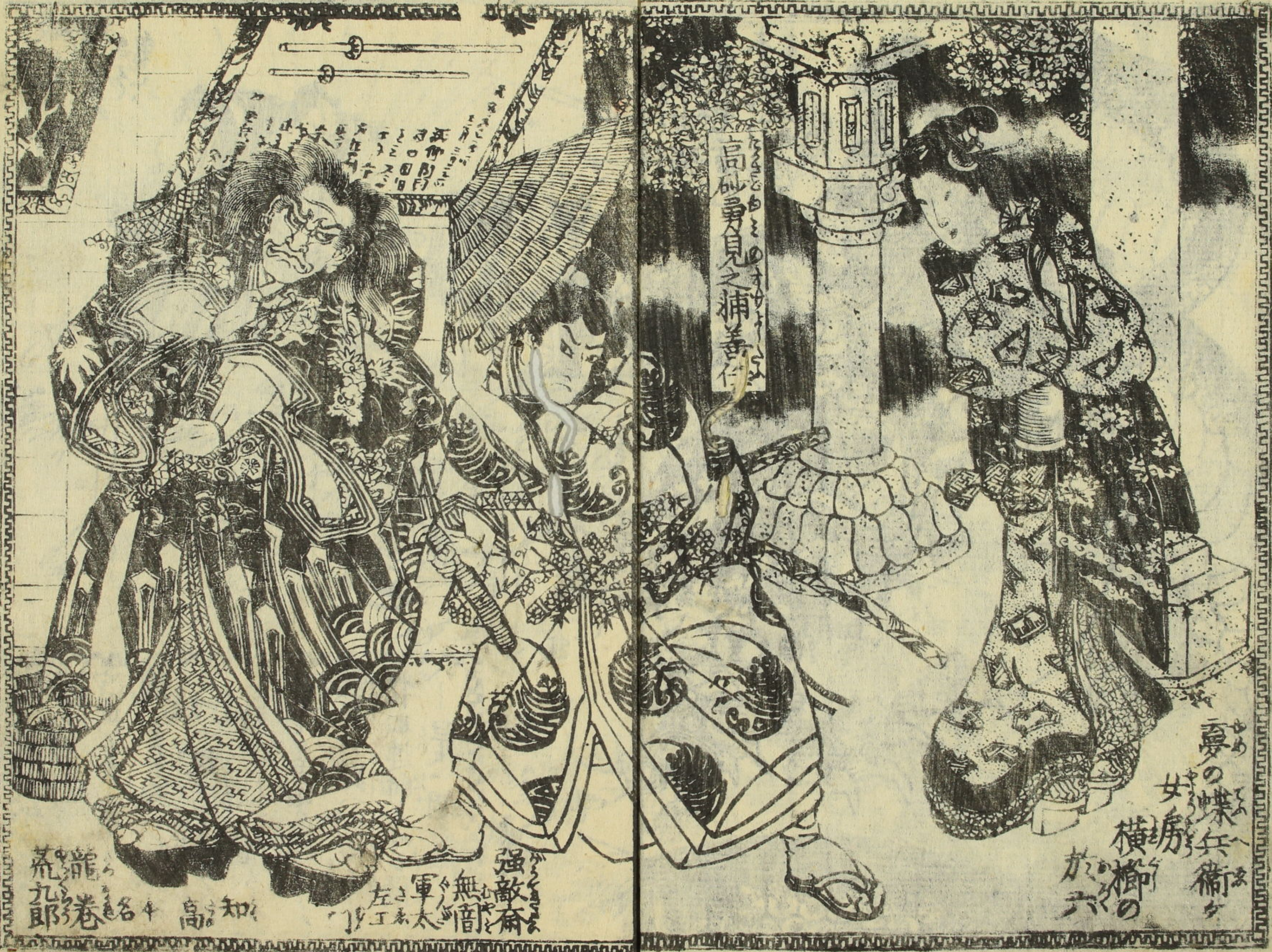


黒姫山の強盗の  
主長見二雷也  
本名 尾形周馬  
弘行



更科家の  
息女  
田島姫





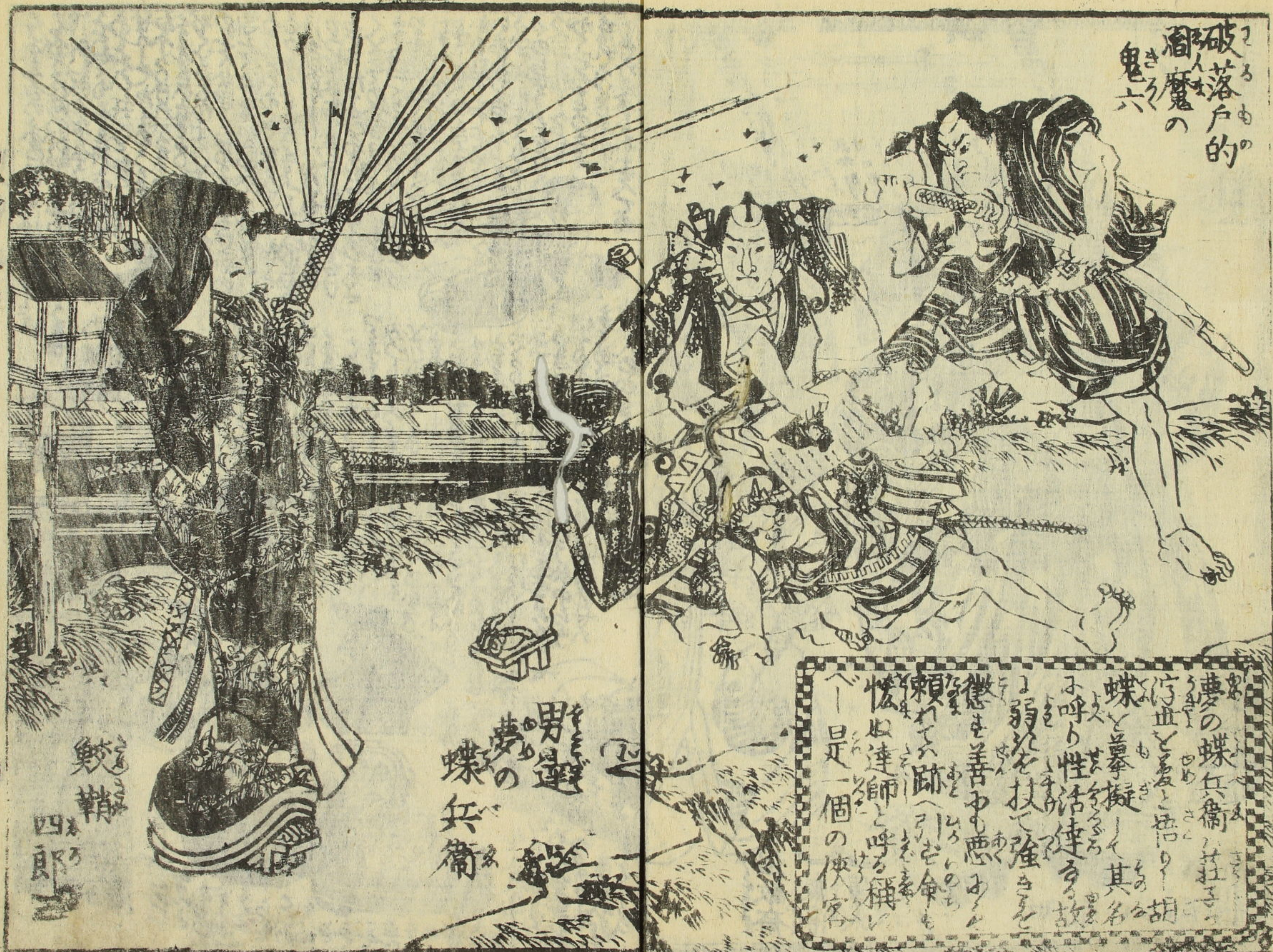
高砂勇見之捕善仁

荒龍九郎卷

強敵無音 左軍太

夏の蝶兵衛 横櫛の 於六





破る由の  
落戸的  
鬼魔の  
六

鯨  
靴

四郎

男選  
蝶の  
兵衛

蝶の蝶兵衛は莊子  
行世と名を悟りて胡  
蝶と慕擬しく其名  
を呼り性活連る故  
に弱きを扶て強きを  
懲を善やも悪あは  
れを引を命も  
懐ぬ連師と呼稱  
一是一個の侠客







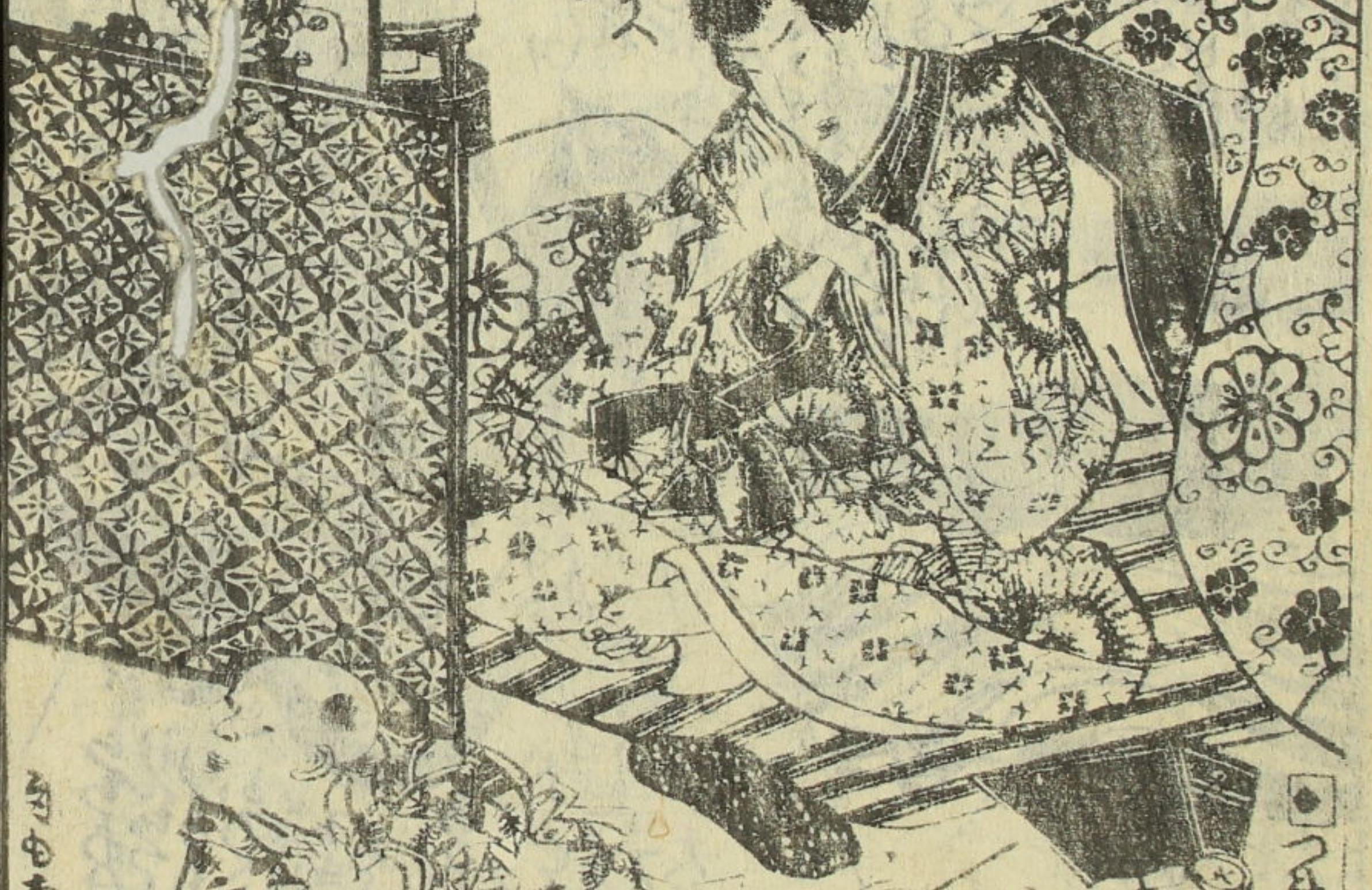








ついでに... 女の人... 東海道...  
ついでに... 女の人... 東海道...  
ついでに... 女の人... 東海道...



ついでに... 女の人... 東海道...  
ついでに... 女の人... 東海道...  
ついでに... 女の人... 東海道...

ついでに... 女の人... 東海道...  
ついでに... 女の人... 東海道...  
ついでに... 女の人... 東海道...



ついでに... 女の人... 東海道...  
ついでに... 女の人... 東海道...  
ついでに... 女の人... 東海道...











児雷也

歌川豊国画○美圖笑顔作



一 児雷也豪傑價

四拾七篇

一 休單紙

拾五篇

一 風俗淺間嶽

拾四篇

一 黄金水大盡盆

拾七篇

書肆  
地本  
問屋

芝神明前  
和泉屋  
市兵衛

銀座四丁目  
同  
支店



